

あほうどり ピカピカに

修復終え万博公園に

世界一周の航海後、大阪府吹田市の万博記念公園で屋外展示され傷みが目立っていたヨット「信天翁」が、ヨット愛好家らの協力で修復さ

れた。9日、航海当時と同じ赤と白のペンキで化粧直しされ、防水加工された同ヨットが再展示された。

ヨットは長さ約6・4メートル。和歌山市の青木洋さん(53)が木の骨組みにベニヤ板をはり付けて手作りし、71年から3年2カ月がかりで国内初の世界

一周を達成した。後に同公園に寄贈されたが、27年間風雨にさらされ、腐食が進んでいた。

昨年7月、修理保存を旨としてヨット愛好家らが青木さんとともに、修復費用約650万円の一部などを負担し、今年1月から自分たちの手で修復していた。



再び展示された「信天翁」二世号」に乗る青木洋さん。9日午前、大阪・万博記念公園で